

平成30年度 事業計画書

1 事業方針

定款の目的に基づき、川崎市及び横浜市の公害健康被害者の健康の回復及び福祉の向上を図るとともに、川崎及び横浜両市民の大気汚染に係る健康被害の予防に寄与することを目的として、前年度に引き続き次により事業を行う。

- (1) 検査・検診事業については、公害健康被害の補償等に関する法律に基づく障害程度の見直し及び認定更新に伴う医学的検査を行う。
- (2) 公害健康被害者の健康の回復及び福祉の向上を図ることを目的に保健福祉事業を実施する。前年度に引き続き呼吸機能訓練教室を開催する。
- (3) 大気汚染に係る健康被害の予防に寄与することを目的に健康被害の予防事業を実施する。今年度は、呼吸器健康相談事業、アレルギー相談血液抗体検査事業及びぜん息児水泳教室事前検診事業を行う。

2 事業計画の内容

(1) 検査・検診事業（事業費 34,943千円）

平成30年度は、認定患者を対象に次のとおり検査・検診を行っていく。

川崎市		横浜市		合計
見直し	935	見直し	120	1,055
更新	89	更新	36	125
更新見直し	165	—	—	165
計	1,189	計	156	1,345

検査結果に基づき、「医学的検査結果報告書」を作成し、川崎・横浜両市に提出していく。

川崎市に係る認定審査を終えた被認定者の療養に関する資料と医学的検査結果報告書はセンターに保管していく。

(2) 保健福祉事業（8,400千円）

公害病被認定者を対象として、各分野の専門家により、日常生活における療養の仕方、呼吸指導等の訓練を実施することにより、病状の改善と健康の回復、保持・増進を図ることを目的として、呼吸機能訓練教室を開催する。

年間10回開催し、1回当たり30人の予約制とする。

教室内容 呼吸器疾患に関する講話、呼吸筋のストレッチ体操、腹式呼吸のための音楽療法、健康レクリエーション等

また、2回の知識普及講演会を実施することにより、PRや参加者の拡大を図っていく。

(3) 健康被害の予防事業

川崎市民の大気汚染に係る健康被害の予防に寄与するため、次の事業を行う。

ア 呼吸器健康相談（4,209千円）

市民を対象に気管支ぜん息、ぜん息性肺疾患、慢性気管支炎及び肺気腫に関する相談及び指導を行うことにより、当該疾患の予防及び当該疾患に係る患者の健康の回復、保持・増進を図ることを目的として実施する。

年間17回開催し、このうち10回については、これまでと同様に当センターで原則として毎月第2木曜日に実施し、2回については、中北部地域市民の利便性を図るため、中原区及び多摩区で実施し、何れも定員は10名程度とする。

残り5回については、今年度から新たに「看護フェスタ」や「区の健康づくりのつどい」などのイベントに参加して、市民の肺年齢の測定を行うほか、川崎市がぜん息児を対象に行うキャンプ「あおぞらウェルネス」に参加して肺機能測定を行う。

イ アレルギー相談血液抗体検査事業（9,743千円）

川崎市が実施する各区の乳幼児健康診査で抽出されたアレルギー素因保有者の内、アレルギー相談を受診し、医師の判断により血液抗体検査を行う児（4歳未満の乳幼児）の採血を行い、分析結果を川崎市に報告する。

今年度は、6種の検査項目について約110人を対象に実施する。

ウ ぜん息児水泳教室事前検診事業（1,752千円）

川崎市が実施するぜん息児水泳教室に参加する予定のぜん息児への事前検診業務及び水泳教室開催中のピークフロー介助を行う。

事前検診は、約120人を対象として、センター外で3回実施する。

（4）改修工事について

今年度は、壁クロスの張替えと床シートの張替え工事を行う。